

米沢市立第六中学校増改築地質調査委託

B-No. 1



ボーリング柱状図

シート No.

米沢市立第六中学校増改築地質調査委託

B-No. 2



ボーリング柱状図

調査名 米沢市立第六中学校増改築地質調査委託

ボーリングNo. | | | | | | | | | |

調査名
米沢市立第六中学校増築改築地質調査委託

ボローリングNo.

事業・工事名

シ—トNo.

ボーリング名	B-No. 2		調査位置		米沢市六郷町西藤泉字新屋敷159-1 地内			北緯
発注機関	米沢市建設部建築課							
調査業者名	新栄エンジニア株式会社 電話(0238-21-2140)	主任技師		平 売 一	調査期間	平成 13年 11月 24日 ~ 13年 11月 29日	東経	ボーリング責任者 佐藤則生
孔口標高	角 -0.77m	方 向 北0° 270°西 90°東 180°南		地盤勾配 鉛直90° 水平0°	試験機 錐 機	東邦工機製 D-1型	ハンマール落下用具	コーンブリー
総掘進長	15.50m	度			エンジン	ヤンマー製 NFD80-H	ポンプ	東邦工機製 BG-3型

掘進月日	室内試験	採取方法	試験番号	試験結果	原位置試験	標準貫入試験	孔内水位	記述	相対稠度	相対密度	色調	土質区分	柱状図	深度	層厚	標高	標尺

米沢市立第六中学校増改築地質調査委託

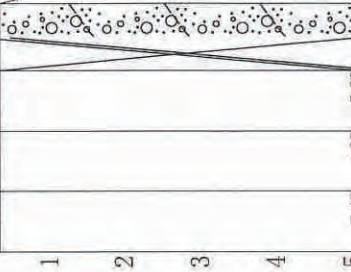
B－No. 3



ボーリング柱状図

シ—ト No.

調査業者名	新栄エンジニア株式会社 電話(0238-21-2140)	主任技師	平 亮 一	現 理 人	場 人	奥村雅美	コ 鑑 定 者	ア 者	奥村雅美	ボ-リング 責任者	沖田 誠
孔 口 標 高	-0.29m	角 度	方 向	地 盤 勾 配	使用機種	東邦工機製	D-1 型	ハンマー 落下用具	コ ン プ リ ー		
総掘進長	15.50m				エンジン	ヤンマ-製	NFD80-H	ボ-ン プ	東邦工機製	BG-3 型	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記事	標準貫入試験				原位置試験		試験採取方法		室内試験 ()	掘進月日
									深 (m)	厚 (m)	打撃回数	N 値	深度 (m)	試験名	深度 (m)	試験番号		
1	-0.64	0.35		表土	暗茶灰			土質は礫混りシルト(農耕土)。φ10mm程度の礫混入。	1.15	4	5	6	15	30				
2				埋土 (シルト混り砂礫)	黄茶灰	中		平均礫径φ5~50mm程度の角~亜角礫主体。最大礫径φ70mmで、短棒状に採取される(推定礫径φ200mm程度)。礫混は泥岩、マトリックスはシルト混り細中砂。水や多く、ルーズ。	1.45	7	5	5	17	30				
3					暗茶灰				2.45	2	3	3	8	30				
4									3.15	2	3	3	8	30				
5	-5.49	4.85							3.45	2	3	2	7	30				
6									4.15	3	3	7	13	30				
7									4.45	3	3	7	13	30				
8									5.15	3	3	7	13	30				
9									5.45	12	13	15	40	30				
10									6.15	14	20	18	52	30				
11									6.45	13	9	13	35	30				
12									7.15	12	17	13	42	30				
13									7.45	13	12	16	41	30				
14	-13.49	8.00							8.15	16	20	19	55	30				
15	-14.44	0.95							8.45	11.15	13	21	18	52	30			
16	-15.79	1.35							9.15	11.45	5	4	5	14	30			
17									9.45	12.15	7	10	10	27	30			
18									10.15	12.45	6	8	11	25	30			
19									10.45	13.15	14.45	15.15	15.45					

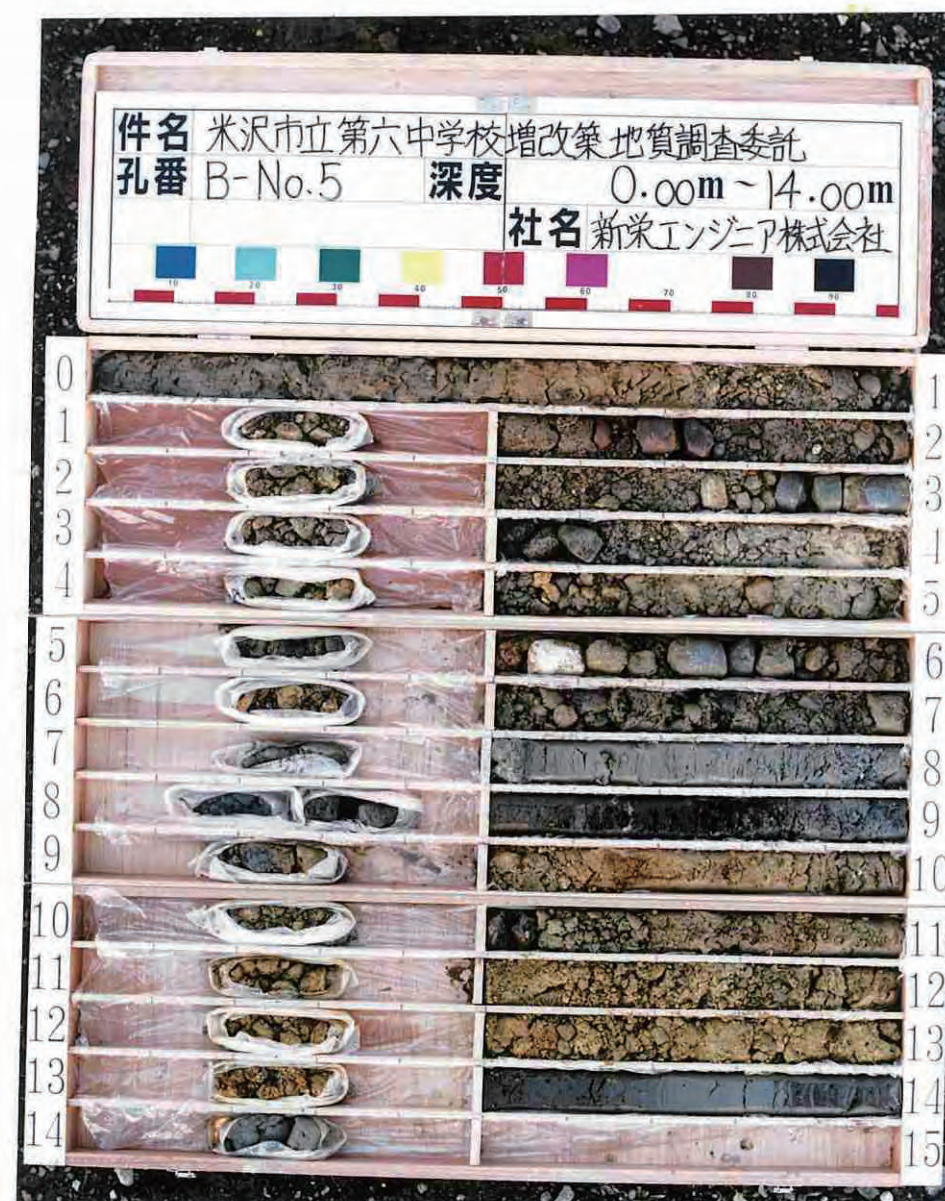
米沢市立第六中学校増改築地質調査委託

B-No. 4



米沢市立第六中学校増改築地質調査委託

B-No. 5



ボーリング柱状図



調査名 米沢市立第六中学校増改築地質調査委託

事業・工事名

ボーリング名	B-No.5		調査位置		米沢市六郷町西藤泉字新屋敷159-1 地内		北緯	
発注機関	米沢市建設部建築課							東経
調査業者名	新栄エンジニア株式会社 電話 (0238-21-2140)		主任技師		平亮一		調査期間	平成13年12月7日～13年12月10日
孔口標高	-0.82m		角	180°上 90°下	方	北0° 270°西 90°東 180°南	現代理人	奥村雅美
総掘進長	14.50m		度	0°	地盤勾配	鉛直90°	試験機	奥村雅美 コア鑑定者 ハンマー落下用具
							エンジン	ヤンマー製 NFD80-H
							ポンプ	東邦工機製 BG-3型

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験		試験採取		掘進月日
								深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深度 (m)	試験および結果	試験番号	採取方法		
1	-1.12 0.30 -1.32 0.40		表土 シルト質細砂	暗灰 茶灰			土質は礫混り砂質シルト(農耕土)φ10mmの礫混入。 砂の粒子不均一。 細粒分多く、弱い粘性を有する。	1.15	14	13	12	39	30			
2			砂礫	暗茶灰	密 / 中		平均礫径φ5~30mm程度の亜円礫主体。 最大礫径φ80mmで、短棒状に採取される(推定礫径φ250mm程度)。 所々に短棒状の礫混入。 礫種は安山岩や泥岩主体。 マトリックスはシルト混り細中砂。含水やや多い。	1.45	12	12	12	36	30			
3			砂礫	暗茶灰	密 / 中			2.15	9	8	11	28	30			
4			砂礫	暗茶灰	密 / 中			3.15	15	13	12	40	30			
5			砂礫	暗茶灰	密 / 中			4.15	14	13	11	38	30			
6			砂礫	暗茶灰	密 / 中			5.15	7	8	11	26	30			
7	-7.92 6.40 -8.32 0.40		礫混りシルト	暗青灰	硬		粘性やや大きく、硬質。 φ10mm程度の礫混入。	6.15	3	4	6	13	30			
8	-9.07 0.75 -9.62 0.55		シルト混り中砂	暗青灰			砂の粒子比較的均一。 礫層のシルト混入。	7.15	4	3	2	9	30			
9			腐植物混りシルト	黒灰			粘着力中位で、やや硬質。 全体的に繊維状の腐植物混入。	8.45	18	22	19	59	30			
10			シルト混り砂礫	暗青灰	極密 / 密			9.15	15	13	13	41	30			
11			シルト混り砂礫	茶灰	極密 / 密		平均礫径φ5~20mm程度の亜円礫主体。最大礫径φ50mm。 マトリックスはシルト混り細中砂。 礫種は安山岩や泥岩主体。 含水やや多い。	9.45	11	11	13	35	30			
12			シルト混り砂礫	茶灰	極密 / 密			10.15	15	13	13	41	30			
13	-14.32 4.70 -15.32 1.00		腐植物混りシルト	暗灰	極硬		粘着力やや大きく、硬質。 全体的に分解の進行した腐植物混入。 13.3m付近薄層の細砂挟む。	10.45	16	20	20	56	30			
14			腐植物混りシルト	暗灰	極硬			11.15	6	6	8	20	30			
15			腐植物混りシルト	暗灰	極硬			12.15								

添付資料4